

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【公開番号】特開2005-183356(P2005-183356A)

【公開日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-026

【出願番号】特願2004-127506(P2004-127506)

【国際特許分類】

H 01 J 61/36 (2006.01)

H 01 J 9/26 (2006.01)

F 21 S 8/10 (2006.01)

F 21 Y 101/00 (2006.01)

【F I】

H 01 J 61/36 C

H 01 J 9/26 B

H 01 J 9/26 E

F 21 M 3/02 G

F 21 Y 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月16日(2007.4.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

セラミック・アークエンベロープ(12、54、82、102、122、352、402)と、

35から55重量パーセントのレニウムを含むモリブデン-レニウム合金を含み、前記セラミック・アークエンベロープ(12、54、82、102、122、352、402)内に延びる通路を有する延性の充填管と、

前記通路を通り、前記セラミック・アークエンベロープ(12、54、82、102、122、352、402)内に延びるリード線と、

前記セラミック・アークエンベロープ(12、54、82、102、122、352、402)と前記延性の充填管との間のシール材料のない密閉シールと、
を備え、

前記延性の充填管の一部は、前記リード線の周りで機械的に圧縮されている、
高圧放電ランプ。

【請求項2】

前記密閉シールは、前記セラミック・アークエンベロープ(12、54、82、102、122、352、402)の近傍部と前記延性の充填管との間の熱的な結合を含む、請求項1に記載の高圧放電ランプ。

【請求項3】

前記熱的な結合は、前記セラミック・アークエンベロープ(12、54、82、102、122、352、402)と前記延性の充填管の両方の拡散材料を含む、請求項2に記載の高圧放電ランプ。

【請求項4】

前記密閉シールは、モリブデン拡散結合を含む、請求項1に記載の高圧放電ランプ。

【請求項5】

前記密閉シールは、タンゲステン-サーメット拡散結合を含む、請求項1に記載の高圧放電ランプ。

【請求項6】

前記タンゲステン-サーメット拡散結合はタンゲステンのリード線を含む、請求項5に記載の高圧放電ランプ。

【請求項7】

前記密閉シールは、金属-サーメット拡散結合を含む、請求項1に記載の高圧放電ランプ。

【請求項8】

前記セラミック・アークエンベロープ(12、54、82、102、122、352、402)内に、ガス、水銀、金属ハロゲン化物を含む、請求項1に記載の高圧放電ランプ。

【請求項9】

中空のランプ本体と、

35から55重量パーセントのレニウムとモリブデンを含む充填管と、

前記充填管を通り、前記中空のランプ本体内に延びるリード線と、

前記リード線の周りに配置された、前記充填管の冷間溶接シールと、

を備えるランプ(10、50、80、100、120、350、400)。

【請求項10】

前記充填管の一部が、前記リード線の周りで機械的に圧縮されている、請求項9に記載のランプ。